

東京圏における鉄道ネットワーク整備に向けた支援について

関東部会提出

平成 28 年 4 月の交通政策審議会第 198 号答申において、東京圏における今後の都市鉄道のあり方として都県における様々なプロジェクトについての具体的な検討結果が示されました。

その中で、埼玉県内における東西交通大宮ルートの新設、埼玉高速鉄道線（地下鉄 7 号線）、東京 12 号線及び東京 8 号線の更なる延伸、千葉県内における総武線・京葉線接続新線の新設、神奈川県内における横浜 3 号線の延伸を含む 24 の鉄道ネットワークが意義のあるプロジェクトとして位置付けられたところです。

鉄道ネットワークの強化は、将来に向けた東京圏の住民生活の向上はもとより、国の中心となる東京圏の経済・産業の発展に大きく寄与するものであり、世界との厳しい国際競争を勝ち抜くために必要な基盤整備にも資するものです。

また、プロジェクトの実現により、交通網が充実し、災害時などにおける代替路線機能が確保されることで、住民生活や経済活動の安定的持続が可能となります。

しかしながら、プロジェクトの実現には、財政的、技術的な面などで検討に時間を要する課題も多く、いまだ多くのプロジェクトが事業開始に至っていない状況です。

以上のことから、東京圏における鉄道ネットワークのプロジェクトを早期実現するため、国によるより強固な財政的及び技術的支援を要望します。